

【論点】 地震発生予測について

現状の地震発生予測の可能性・確度は？

- 調査・研究の進展を踏まえると、確度の高い地震発生予測の可能性はあるか。
- 観測網の発達により、様々な現象を捉えられるようになってきているが、どのような異常が観測されるのか。また、どのような評価が可能であるか。

対象とするエリアは？

- 東海地震だけではなく、広い範囲で大規模地震の切迫性が指摘されており、また、地震発生後に津波到達まで時間的猶予がない地域が多く、甚大な被害が予想される南海トラフ全域を対象とすべきではないか。

(対象エリアを南海トラフ全域に拡大する場合の課題として)

- 今後の評価の高度化のために、様々なデータの更なる蓄積が必要なのではないか。
- 南海トラフでは様々な現象が想定されるため、評価体制を強化すべきではないか。

【論点】 防災対応のあり方

地震発生予測の不確実性も考慮して、どのような緊急防災対応\*を実施するのが適切か。

- 予防的対策の実施状況も踏まえると、どのような緊急防災対応を実施するのが適切か。

(考えられる緊急防災対応の例)

- 津波が数分で到達する地域の住民や、要配慮者の避難は必要か。
- 地震動や津波に対して、鉄道等の運行停止は必要か。

- 緊急防災対応を実施するためには、現在の大震法のような仕組みが必要か。その他の一般災害と同様の仕組みで対応できないのか。

\* 緊急防災対応: 大震法の警戒宣言に基づく地震防災応急対策のような、地震予測に基づき、緊急的に実施する対策